

# 介護のなかま

2010年4月23日  
【発行】生協労連  
介護部会準備会事務局  
NO. 30  
電話：03-3408-0067  
fax：03-3408-8955  
メール：qyg03057@nifty.com

## 介護保険の抜本改善を迫る

### 介護部会準備会で厚労省交渉実施

生協労連介護部会準備会は、4月19日（月）に厚生労働省を実施し、介護保険の抜本改善を求めました。厚労省からは、老健局振興課・高齢者支援課・老人保健課、社会・援護局障害保健福祉部企画課から10人が対応しました。

生協労連介護部会準備会が厚労省に要請した項目は主には3つでした。

- ①. 介護労働者の処遇改善を早急に実施すること
- ②. 介護保険への国の補助金を増やし、利用者負担の軽減を図ること
- ③. 三つ目は、制度見直しに関わる課題、要求

※合わせて、それらに関わる具体的な項目についても要求しました。

<厚生労働省の回答>

- ①介護現場で働く人が大変になっているのは認識している。処遇改善交付金15,000円を執行したが、それでも充分ではない。離職率も高い。キャリアパスをいれて、こんごキャリアデザインが設計できるようにしていきたい。処遇改善交付金は平成23年に切れるが、方法がまだ決まっていないが続行する。民主党がマニフェストで掲げた4万円の賃上げは、長妻大臣も表明しているように、実現に向けて努

力していきたい。

②保険料は所得に応じて設定し、低所得者にも配慮している。財源は公費だけではなく負担金を含めて賄っている。他の社会保険との均衡（半々）もあり、現状を超えた国庫負担の増額はできない。

③制度改定により、実際より低い認定が出るという問題は検証し、ほぼ収束していると評価している。各自治体にはより充実した研修の実施を周知したところである。また、書式が統一していないなど、事務負担が大きいということは承知している。2～3月にアンケートを実施したので集計結果を参考にしながら事務負担の軽減をしていきたい。



厚労省からの回答を受け、やりとりが行われました。

世話人からは、「予防と介護給付に苦慮している。高齢者は1年ごとに加齢をしていく。改善するのは難しく、維持していくのも大変」「行き来の度にケアマネの交替実務が生まれ、利用者にも混乱や負担をもたらす事態となっている」「予防給付と介護給付を見直し、一本化が必要」と制度改善を迫りました。

これにたいし、厚労省からは、「（高齢者は）短期で症状が変わるという意見は何っている。連携を密にしていくことを検討し

ていきたい」と応じました。

また、世話人から「包括センターの位置づけが市町村によって違う。実態は予防プランで手一杯」との指摘にたいし、厚労省は、「良かったこと悪かったことははっきりしており、24年の改定でも議論していく」と応答しました。

また、処遇改善交付金の効果について、厚労省は、「現在調査しており、今年度中には公表したい。合わせて雇用実態についても明らかにしたい」としました。交付金の条件としてキャリアパスが前提になっていることの問題で、「賃金への連動が必要なのか」ということについては、「そうではない。教育制度、研修制度など要件を満たすこと」と回答しました。

さらに、末期がんの認定問題では、迅速さが要求されるとし、現場で実態に起きている事態（認定される前に死亡し、ベッド費用など11万円の費用がかかったこと）の改善、見直し要求にたいしては、「制度改定議論のなかで末期がんは課題になっている。具体的な回答はできないが、材料として受け止める」としました。

最後に、生協の介護事業も依然として赤字の状態がつづいていること、ヘルパー不足は深刻、こうした状況を改善していくためにも大幅な報酬改定が必要となっていることを指摘し、引きつづき要請や懇談を行っていききたいと表明し、交渉を終了しました。

## 介護部会準備会を開催しました

4月18日（日）、生協労連介護部会準備会は世話人会を開催し、2010年春闘の取り組み状況、翌日の厚生労働省交渉、第10回介護事業交流会、そしてそれに合わせて行う「生協労連介護部会発足総会」などについての議論を行いました。

## ☆2010年春闘のとりのくみ状況

介護・福祉での春闘回答状況は、生協労連全体の回答状況と同じように、厳しいものとなっています。

みやぎのこーぷ福祉会などでは賃金部分含めての前進を勝ちとっていますが、他については交付金の継続的な申請・支給は実現できているものの、なかなか具体的な成果は得られていません。

世話人会では、要求を一步でも前進させることを目標に、引きつづき交渉をおこなっていくことと、まだ一時金などの制度がない単組や職種（人）などについては、制度の確実、実現をめざしてとりくみを強めていくことを確認しました。

## 第10回介護事業交流会に集まりましょう

- ◆5月15日（土）～16日（日）
- ◆神奈川県で開催します。
- ◆今回の交流会の講師は、「笑う介護士」の袖山さんです。ご期待ください。
- ◆準備会から部会として正式に立ち上げます。
- ◆参加申し込みと事前アンケートへのご協力をよろしくお願いします。
- ◇詳しくは、参加案内をご覧ください。

## 介護労働者実態調査に御協力を

2012年の介護保険の見直しに向け、全労連で「介護労働者実態調査」を実施することとなりました。今回の調査は、①介護労働者の賃金・労働条件の抜本的な改善」にむけ、現場の実態を鮮明にする、②実施後10年を迎えた介護保険制度の、様々な制度上の矛盾について、現場労働者の要望を踏まえ改善点を明らかにする、③全労連全体でとりくみ集約数と豊かな内容を集約し、社会的にアピールする、を目的としています。みなさんのご協力をお願いします。

